



破魔の
ミズキは
終われない

18
ADULT ONLY

浄——

ふう……

北側の
結界符も
これでよし

あと一箇所
包囲は完成ね



けど
ここもいたのは
低級妖魔ばかり！



情報にあつた
人食いの妖魔は
どこに――



姉上！

アズキ？



親玉つぱいの
見つけたよ！

中級妖魔に
ちっちゃい
お供……



くれぐれも
油断は禁物よ

：アズキ
貴女の力は
知ってるけれど



こっちで
仕留め
ちやうね！

了解――

私は念のため
結界を完成させて
から向かうわ

トッ



符術士ミズキ

靈字をしたためた札を主軸に戦う討魔士。

一族の中でも『破魔のミズキ』と称される優秀な戦士だが、妹アズキが誕生し、その才能を見込んでからは自ら彼女のサポート役を務めるようになる。

妖魔を閉じ込める地域結界や露払いで戦況を整え、時には身を挺して妹をを守り、献身的に支える。



淫魔

人の世に害を与える妖魔達の中で、特に性的な害をもたらす妖魔の通称。小粒な淫蟲や無数の触手を駆使する者が多く、人間の、特に若い女性を好んで餌食とする。元は非力な淫魔でも、快楽を通して人間から精気を奪う事でどこまでも強化していく上に、ひとたび毒牙にかかると例え歴戦の討魔戦士であってもその快楽から逃れることは難しい。個体数は少ないが非常に厄介な存在である。

靈氣・精氣

どちらも生命の根幹を支えるエネルギーであるが、殆どの人間は精気の比重が大きく、妖魔に対抗できる靈力を大量に宿す者は少ない。豊かな氣(生命力)を持つ者は身体能力も高くなる。一方、性感神経の鋭敏さも相応に高くなってしまふ為、靈力に優れた討魔戦士にとって淫魔は互いに天敵同士といえる。

人に仇なす
妖魔を討つ

優れた霊力を
持つが故
古来よりその使命を
自らに課し

世を陰ながら
守護してきた
討魔の一族

その長い
歴史の中でも
妹アズキは
傑出した力を
持つて生まれた

幼いながらに
上級妖魔すら
討ち滅ぼす彼女は
一族の宝であり
人々を救う剣…

私の存在は
この子を支える
為にある――



— それ…

なに…ッ

…ッ…ッ…ッ

俺様が死ねば…

おおっと

危ない真似は
するんじゃねえぞ
お姉ちゃん

…大事な妹
もろともだぜ?

助けて
…っ…っ…っ



姉…上え…っ

ひああッ♡

姉上っ♡♡

ふあああッ♡
あねうええ
えええっ♡

アズキ

あっ♡やあっ♡
ひやめええッ♡

私が付いて
いながら……ッ

目撃情報が
甘かった

いや……
人喰いの妖魔と
言われた時点で
想定しておく
べきだった！

いずれにせよ
二手に
分かれさせた
私の責任……ッ

ククク……

危険な
チビ対魔師が
いるつて噂は
聞いてたが……



全く
恐ろしい小娘も
いたもんだ

淫気への
免疫がまるで無い
チビだったお陰で
助かったがよオ…

でなけりや
今頃は消し炭に
されてるところ
だったぜ

だがその
霊気の味は
極上—

傷の回復を
補って
余りある…

これだけの力を喰らえばどんな相手でも犯し放題よ

中級以上の淫魔は獲物を体内領域に吸い込み貪るといふ...

ひ...く...
ああ...
♡♡♡

それを人喰いの妖魔と誤認されるのは稀にあること...

やあ...♡
やらよお♡

触獄

その責め苦しさを耐え抜くには...

もおもゆるにゆる止めてえッ♡

しぬッ♡
しんじやうよおッ♡

彼女^{アスキ}はあまりに幼過ぎる...

...ねうえ...
姉上ええッ♡

傷が癒えたらお前も一緒に可愛がつてやるさ

まそれまではその下級淫魔共と遊んでな

ククク

うあ...♡
ああ...♡

キヤ



緊急帰還用の
秘転符……

これに
ありつたけの
霊力を乗せる……ッ

奴が手負いの
今なら

淫獄の障壁も
あるいは――



アズキ!

なッ……!?
て……
手前エッ

貴女の力は
多くの人々を
救うもの……

こんな所で
終わらせたりは
しないッ

あ……ねっ……



今…意識を
失うわけには
いかない…ッ

駄目よ!

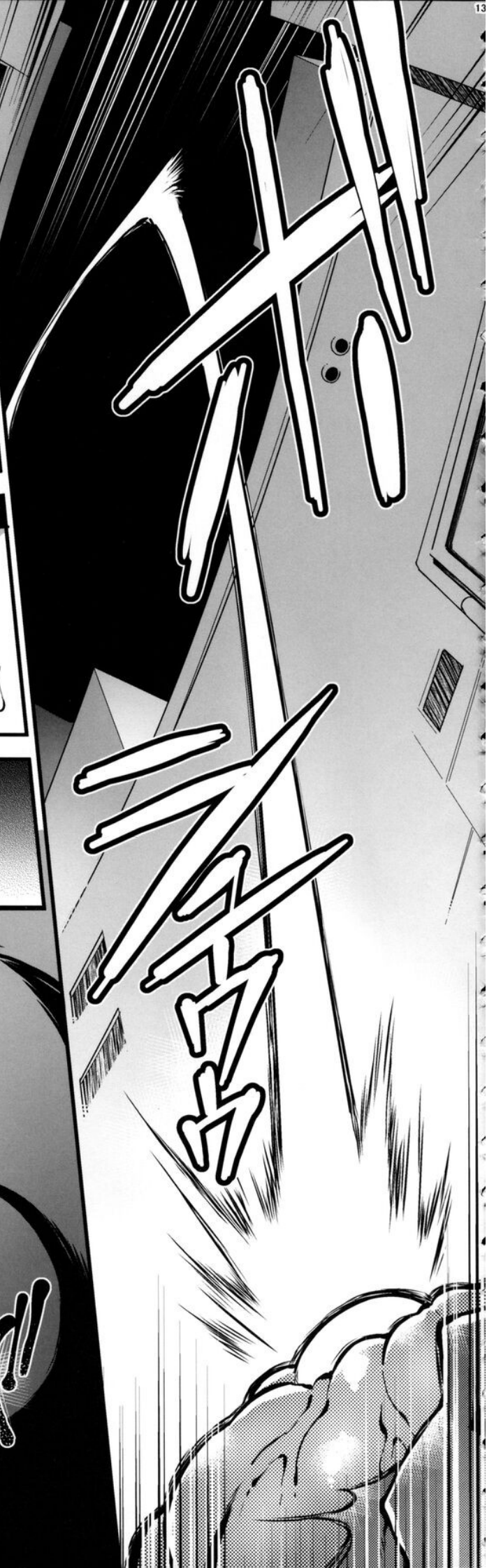


キッッッ



私の役目は…

…まだ



ーまったく
やつてくれた
じゃねえか

アレは
まだまだ
しやぶり
尽くしてやる
つもりだった
のによオ...

討魔の符術士
《破魔のミズキ》
...だったか?

せつかくの獲物を
逃されたんだ

代わりに
たつぷり味わわせて
貰わねえとなア

姉上サマ?



さつきの術の所為で
霊力は大して
残っちゃいねえが...

ククッ...
いい面だけ

精気は
まだまだ十分
喰らえそう
だなア?



な...なんて
濃密な
淫気なの!?

スーツ裏に
忍ばせた
破邪符が
効いてるはず
なのに...

胸だけで
気を...やっで
しまえそう
...っつ

触獄—
こ...これが



アズキの帰還で
危機が伝われば
援軍が来てくれる
.....

それまで
何としても
コイツをここへ
留め置く!

...尤も



けれど
耐えなければ
...ツツ!

私が気を失えば
一帯に張った
結界の効果も
消えてしまう...

あの小娘だって
最初は威勢が
良かったんだ

「姉上が
来るまで
耐えて」

「絶対お前を
やっつける！
…ってよオ？」

「討魔の娘は
妖魔になんか
負けない」

クク…健気
だよなア？

ツ…アズキ

だがそれも
絶頂を知る
までの話

えっ♡あっ♡…
なっ…なに♡
これ—

や…っ!?
それ何っ!?

何する気—

生まれて初めての
アクメを連続で
味わわされりや…

クヒヒツ…
折れるのは
あつという間よ

ちあて

姉上サマは
どこまで
持つのかねえ?



か…感じ
過ぎるッ

ニッ…
これッ!?

あ

ツツツツツ

嘘

いッ…
淫気に当てられた
クリ…トリス…ッ

ス…ツ越しですら
ニッ…これ程

あ
あ



触手唾内の刺激
一つ一つを…ッ
繊細にッ

…駄目…ッ
抑え…切れな

イッ

ツツツ

ツツツ



く...あ...ツ!!?



ぎゃ...?



わ...ッ
分かってる!

私がいくら
気をやろうと

淫魔の
責め手が
緩むことなど
無いッ...



ごめんね
アズキ...ッ
カキ

貴女に...こんな
辛い思いをさせて
しまつて...ッ

私が必ず...ッ

これに...ッ
耐え...て...

...か...ッ

仇を...

成程ねエ



クワッ

クワッ

グッ

グッ

グッ

グッ

は

は

さすがは
お姉ちゃんだ

これだけイツて
音を上げないとは
大したもんだぜ

グッ

グッ

グッ

グッ

フオオオオオ

大方あの結界で俺様を逃がさねえため頑張ってるんだろ？

そのうちお仲間が助けに来るって訳だ

…だが触獄から二度も獲物を逃がすつもりは無え…

手前エはどうする気だ？

…あなた諸共ここで滅するだけのこと…

この期に及んで命を惜しむつもりはない…わ…ッ

ハッ！ そいつはおつかねえ

なら急いでイキ墮とさなきやなア

そうすりや面倒くせえ結界も消滅するだろう

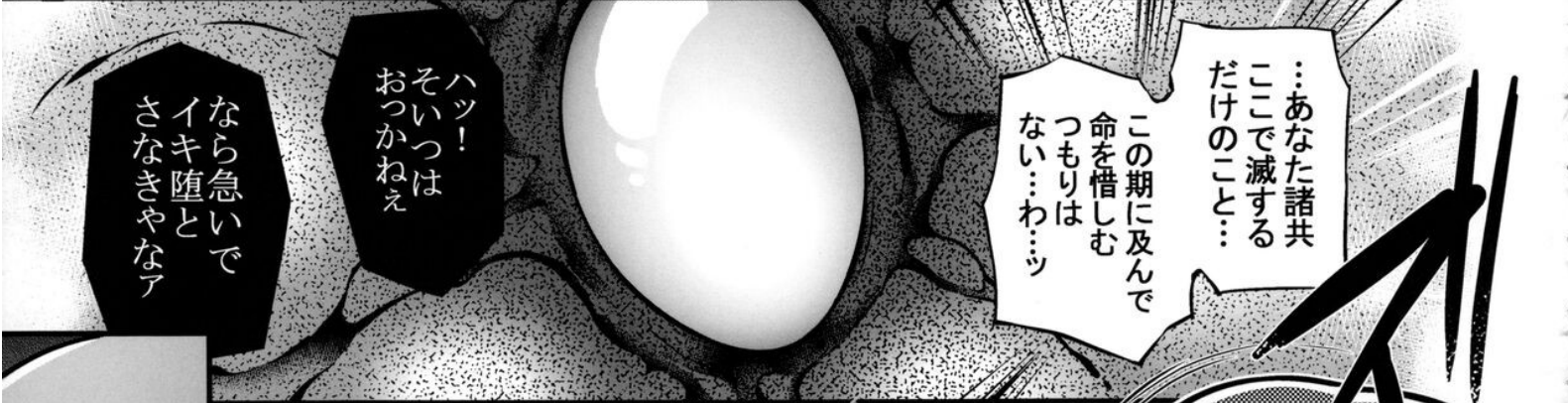
!?

この街なら援軍到着まで一時間余り…

あれから既に50分は経過している

…あと少し同じことを繰り返すだけ

大丈夫！ 耐えてみせる—



何を

され

た...
って!?

う...

ああ

つ...

こりや
力の加減が
難しいな

下手すりや
こつちが壊れ
ちまうぜ





おっ...

い...今のはッ...
いったい...!?

もつと小さく...
こんなもんか...?

やッ!?ま...
待って—

あ...あ...あ...

駄目ッ♡
今あッ♡

扱...ひッ♡
イクッ...♡

ち...違う...ッ
これはッ...ッ
触れられる
前にッ...もう
イツてる!

気が...ッ
淫気が直接ッ

快感の波動を
流し込んで...ッ

強制的に

気を波動として操るこの力：
ま…さか
…あ…ツ

そう…
手前エの大事な妹の力—

それを喰らつて淫気に応用したのさ

イカされる—

…さすがの姉上サマも

まだ操れる波動はちつぽけだが
それでも大した威力じゃねえか

あの小娘にもお見舞いしたかったがなア…





これを堪えるのは無理だったかア?



だ…め…ッ

破邪符の守りも消えた状態で…

こんな…ッ

クク…
すっかり蕩けて

いい具合になつたじゃねえか

なア?

こんな

耐えられる
訳がないッッッ

アズキの力を
奪ったコイツを...

野放しになんて
出来ない...のに...ッ

...ッ

—まだッ...

なの...ッ♡

これ以上はッ
もう—

援...ぐッ♡

だ...誰でも
いいッ...♡
からッ...あ

クッククック

...ッ

残念だが
助けなんざ
来ねえよ

んで…ッ
そんな…♡

まだまだ
当分なア
クク…

淫魔の意識が
触獄に向いてる間

中の時間は外と
隔絶されてるのさ

ま触獄から正気で
戻れた人間なんざ
滅多にいねえだろ
うからなア

討魔士だろうと
知らなくて当然か

フッ…
ククッ…
クヒヒヒ
ヒヒッ!



姉上サマは
小一時間頑張った
つもりだろうが



外じや精々
2・3分つて所か



スッ...

—お?

結界が
消えたな



どちらに
せよ—



それとも
意識がトンじまった
のかよオ?

なんだ?
まさか
もう諦めち
まったかア?

そら起きろ

寝てる暇
なんて無エ
んだよ!

手前エは
妹の代わりに

しゃぶり
尽くされるん
だからなア!!

!!!
フッ

!!!

!!!
!!!



俺様もろとも
殺して貰うって
話だったろ

死にたがるのは
まだ早いんじゃないや
ねえのかア?

つとオ



ククク…ッ

結局
心も折れ
ちまつたか

姉妹そろって
堪え性がねえな



…ちよつと
力むとこれだ

まったく
難儀な力だぜ



…ま触獄に
捕らえた獲物は
朽ちることが
ないからな

存分に
試させて
貰うさ

精神なかみの方は
じき壊れちまう
だろうが…

そんな時はまア

残った『体』を
大事に使わせて
貰うぜ——

あとがき

■お手に取ってくださり感謝感激の灯ひでかずです。
今回は前作でちよい役だった姉上本でしたが、コミケ休止期間があったこともありなんとアズキ本から3年も開いてるんですね……。

■囚われた姉上の過去を描こうと思ったときは
「前作ありきで導入すっ飛ばせるからエロシーンだけ描けるのでは？」
……などと考えたんですが、さすがにそれじゃ今作だけ読む人が置いてきぼりだろうと思いなおし、なるべく単体でもお楽しみいただけるように尺を割いた結果、最初に考えていた内容とは色々違ったものになりました。

具体的に言うと、本来は姉上折れた後をもっと描くつもりでいたんですよ。
『最期に折れる』オチはあっても、完全に折れた先をメインに描くことは珍しい僕なんですけど、姉上は前作で折れる事が決定してたキャラですし、たまにはそういうシーンも描きたいな～と。
(長らく墮ちない本が続いたこともありますし)

あと幼アズキの回想ももっと増やして、姉上のシーンと重ねたりもしたかったんですが、尺と時間と体力の問題で無理でしたね……。

そんな感じで結果的にいつもと同じような展開になってしまいましたが、果たしてこれで良かったかどうかは……皆さんの性癖に委ねます。

■ここまでお付き合い頂きありがとうございます。
次回がありましたらまたお会いしましょう！

- 発行日・2022/12/31
- 発行元・灯夜工房(灯ひでかず)
- 連絡先・tomosibi18@hotmail.co.jp
- 印刷・ねこのしっぽ様

18歳未満の購入・閲覧、及び無断転載は禁止
なお、触手姦は犯罪です
触手の生えた方、淫魔を召喚できる方
間違ってもその力を人に向けないで下さい

PRESENTED BY

灯夜工房